

平成30年度 事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

防災技術の指導、知識の普及、防災・救急に関する意識と行動力の向上を図るための事業及び防火・防災の普及啓発に関して、自衛消防業務講習など各種講習の開催や普及啓発用品、防災専門図書の販売などの事業を実施する。

(1) 自主防災指導事業

防火対象物の関係者等に対する防火・防災に係る知識、技術の指導及び自主的な検査の促進並びに政令改正に伴い新たに消火器設置義務が生じる可能性のある飲食店等に対する実態調査、指導

ア 防災指導

防災指導対象物件数 8,500件

イ 自主検査通知業務

自主検査通知対象物件数 13,000件

ウ 飲食店等実態調査、指導業務

飲食店等実態調査、指導件数 13,896件

(2) 消防訓練指導事業

災害が発生した場合の避難誘導や消火活動などの初期対応が的確に実施できるよう、特定防火対象物の関係者等に対する知識及び技術の指導並びに消防計画に関する指導

自主訓練指導及び実地指導対象物件数 6,500件

(内 実地指導対象物件数 3,250件以上)

(3) 応急手当普及啓発事業

心肺蘇生法等の応急手当に関する知識と技術の普及啓発により、傷病者の救命率の向上と市民等の自主救護能力の向上を図るための各種講習会を開催

ア 市民及び市内在学、在勤者を対象とした応急手当の指導

(ア) 救命入門コース

実施回数 12回

(イ) 普通救命講習

実施回数 I、III = 451回

II = 4回

(ウ) 上級救命講習

実施回数 57回

(エ) 応急手当普及員講習

実施回数 新規講習 = 27回

再講習 = 45回

イ 患者等搬送乗務員講習 (患者搬送事業者の乗務員対象)

実施回数 基礎講習 = 2回

定期講習 = 4回

(4) 阿倍野防災センター事業

施設を効果的・効率的に活用し、創意工夫により質の高い防災知識・技術を普及し、自助・共助による防災・減災体制の強化を目指した管理運営

ア 平成30年9月1日～平成31年3月31日の防災センター整備工事実施期間中に限り、3階防災研修エリアや屋外駐車場を活用した代替施設の運用管理

イ 年間来館者数 目標＝62,500人（4月1日～8月末までの5か月間）

(5) 普及啓発事業

ア (一財)日本消防設備安全センターからの講習受託事業

(ア) 自衛消防業務講習

新規講習（14時間） 42回

再講習（5時間） 13回

(イ) 防火対象物点検資格者講習

本講習（20時間） 2回

再講習（5時間） 11回

(ウ) 防災管理点検資格者講習

本講習（9時間） 2回

再講習（2時間） 1回

イ 防災講演会の開催

ヴィアール大阪 ヴィアールホールにおいて「防災講演会2019」を開催（平成31年1月頃）

ウ 住宅防火対策や火災予防運動等の啓発行事への協賛

・ 住宅防火啓発ポスター制作協賛（9月頃）

・ 2019おおさかのしょうぼうカレンダー制作協賛（11月頃）

(6) 普及資材等販売事業

ア 普及啓発用品、防火・防災用品の斡旋販売

イ 秋・春の火災予防運動啓発資材の販売

ウ 防災専門図書の販売

エ 消防職員礼服貸出

オ 新規収益事業の研究開発